

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

- ★最初のISS構成要素打上げから2769日経過しました
- ★第13次長期滞在クルーのISS滞在は80日経過しました
- ★ISS動向

第13次長期滞在クルーのパベル・ビンogradとジェフリー・ウィリアムズ両宇宙飛行士は今週、プログレス補給船(20P)の分離と、プログレス補給船(22P)およびスペースシャトル・ディスカバリー号(STS-121ミッション)の到着に向けた準備を行いました。

ふたりは、ディスカバリー号の耐熱タイルの損傷を確認するために「ズヴェズダ」(ロシアのサービスモジュール)の窓から行う写真撮影の訓練を行いました。この撮影はディスカバリー号がISSへドッキングする直前に行うランデブー・ピッチ・マヌーバ中に行われます。撮影された画像は地上へ送られ、耐熱タイルに損傷がないか入念に検査されます。

6月19日には不要品を積み込んだプログレス補給船(20P)がISSから分離しました。その後、6月25日にカザフスタン共和国バイコヌール宇宙基地からプログレス補給船(22P)が打ち上げられ、6月27日にISSに到着する予定です。

なお、7月打上げ予定のディスカバリー号でトーマス・ライター宇宙飛行士(欧州宇宙機関:ESA)がISSに到着すると、長期滞在クルーは2003年5月以来の3人体制に戻ります。ライター宇宙飛行士は今年12月打上げ予定のSTS-116ミッションで帰還する予定です。



プログレス補給船到着準備を行うウィリアムズ宇宙飛行士(提供:NASA)



現在のISS形状(提供:NASA)

“スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-121)準備状況”

米国時間6月13日から6月16日の間、NASAケネディ宇宙センター(KSC)にて、STS-121クルーと地上の管制要員は、打上げ当日の作業を確認するためのターミナル・カウントダウン・デモンストレーション・テスト(TCDT)を行いました。当初、同6月12日から行う予定でしたが、熱帯低気圧の通過のためクルー到着が1日遅れたことから日程変更となりました。

また同6月16日、17日の2日間、NASAはKSCにおいてNASA長官や上級マネージャ、技術者らが出席してSTS-121ミッションの準備状況を確認する飛行前準備審査会を開催しました。審査会の結果、STS-121ミッションの準備状況は整っていると判断され、STS-121ミッションの打上げ日時を米国東部夏時間7月1日15時48分(日本時間7月2日4時48分)とすることを同6月17日に発表しました。



クルー全員が参加した記者インタビューの様子(提供:NASA)



射点で行われた緊急避難訓練の様子(提供:NASA)



飛行前準備審査会の様子(提供:NASA)

“インフォメーション”

★「宇宙芸術展」6月30日(金)まで開催中

これまでJAXAと大学等が進めてきた共同研究より生まれた作品をJAXAiに展示しています。野口宇宙飛行士が昨年のSTS-114飛行中にISSで折った「宇宙鶴」や土井宇宙飛行士が宇宙で描いた「絵画」(模写)も展示していますので、ぜひお立ち寄りください。

■開催期間:6月10日(土)~6月30日(金)

■開催場所:JAXAi(東京丸の内オアゾ2階)

※アクセスマップ http://visit.jaxa.jp/jaxai/index_j.html

■見学時間:午前10時~午後8時 ※見学は無料です。

■参考:宇宙文化ページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/utiliz/spaceculture/index.html>



「宇宙芸術展」展示品
(京都市立芸術大学 福嶋教授作品)

問い合わせ先:宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。